

栄 養 科

栄養科長 松下友美

1. 令和4年度部門目標

- ・安全で質の高い給食づくりを目指します。
- ・わかりやすい栄養指導を目指します。
- ・医療スタッフと連携してチーム医療の向上に努めます。

2. 業務体制・スタッフ

病院職員：常勤管理栄養士4名（育児休業1名含む）・再任用管理栄養士1名
非常勤管理栄養士2名

委託職員：管理栄養士・栄養士・調理師・調理補助員 計約20名

3. 業務実績

《給食実績》 給食提供数：111123食（前年比+6%）

調乳本数：71532本（前年比-10.5%）

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
提供食数 (特食・調乳併用含)	130722食	135901食	125937食	110459食	111123食
特別食	32441食	30339食	34486食	39862食	35481食
特別食割合	24.8%	22.3%	27.4%	28.8%	28.2%
調乳本数(小)	65093本	66652本	59742本	66652本	61959本
調乳本数(大)	14463本	13907本	12834本	12406本	9573本

《栄養食事指導（加算）》 指導件数：1966件（前年比-8.3%）

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院	692件	564件	1036件	1233件	1105件
外来	1040件	990件	941件	911件	861件
合計	1732件	1554件	1977件	2144件	1966件
1栄養士当たり	297件	259件	330件	357件	327件

《NST加算》 算定件数：144件（前年比+22%）

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
算定数	203件	287件	102件	118件	144件

4. 令和4年度の総括

- ・ 栄養管理については、食数は若干増加傾向にあるも、特別食加算比率は前年度より低下が見られた。
- ・ 人員配置については年度途中より会計年度職員の退職による減少があったが、新年度で補充可能となった。
- ・ 栄養指導については、入院・外来ともに減少傾向にあった。外来では主に内科、入院では小児科のアレルギー負荷試験関連や循環器内科のカテーテル治療後、消化器疾患の栄養指導が割合としては多くを占めていた。
- ・ 給食管理については、引き続き委託会社と連携しながら安全な食事提供に努めた。機能評価に向け、マニュアルの見直しを行った。
- ・ 委託会社と協力し、下記取り組みを行った
 - 全粥ゼリー・茶碗蒸し（嚥下食）の導入
 - 小児蛋白制限食 おやつの見直し
 - 胃切除食 献立・間食の見直し
 - 産後ケア食の提供開始
 - お祝い膳 内容の見直し（食器の導入）
- ・ NST介入件数については前年度より増加した。前年度のラウンド業務見直しにより、なるべく効率良く短時間でのラウンド実施を目指した。
- ・ 次年度に稼働する予定の新カルテシステムの運用開始に向け、システム会社とのワーキングが開始された。給食・栄養管理・栄養指導・NSTなどのシステム構築を行った。

5. 今後の目標

- ・ 栄養管理体制拡充
- ・ 質の高い給食提供
- ・ 安全管理体制強化

新年度は1名増員となるためまずは現行の業務が円滑に進められるよう、教育体制を整える。

また、新電子カルテシステムの運用開始があるため、安全に食事が提供されるよう、対応を行っていく。

栄養管理・栄養指導業務について情報共有方法・業務分担等適宜見直しをしながら、より円滑に業務が遂行されるようにしていく。

給食委託会社は4年目となる。人の入れ替えもあり、安全な食事が提供できる人員確保と教育体制の整備が課題となる。